

平成15年1月15日
中国電力株式会社

電力ネットワーク運用の高度化と効率化をめざして

電力ネットワークは、発電所・送電線・変電所などの電力設備で構成されており、それらの設備を守備範囲の異なる複数の機関で協調をとりながら、24時間お客さまのもとへ電力を効率的に安定してお届けしています。

当社の電力ネットワークの運用は、中国地方全体を「中央給電指令所」で、県単位のエリアを5箇所「給電所」で、ローカルエリアを11箇所「制御所」でそれぞれ分担してきました。

このたび、昨今の通信・制御技術の進歩等を踏まえ、より効率的かつ安定的に電力ネットワーク運用を行っていくため、5箇所「給電所」を統合して新たに「基幹給電制御所」を設置し、更なる高度化・効率化をめざすこととしました。

また、9箇所の「50万ボルト変電所」をこの「基幹給電制御所」から集中監視・制御することにより、電力ネットワーク運用の効率化を図ります。

上記の施策を実施することにより、電力ネットワークの安定運用を進めるとともに、より一層のコスト削減に取り組み、お客さまのご期待に応えてまいります。

【実施する施策の具体的内容】

1. 「基幹給電制御所」の新規設置

- (1) 設置時期 平成16年2月
- (2) 設置場所 岡山市
- (3) 業務内容 ○ 「給電所」が県単位のエリアで運用していた基幹系統（22万ボルト設備）を、「基幹給電制御所」で一元的に運用する。
○ 9箇所の「50万ボルト変電所」を「基幹給電制御所」から集中監視・制御する。（順次）

2. 「50万ボルト変電所」の集中監視・制御化

- (1) 実施時期 平成16年2月以降順次（平成20年2月完了予定）
- (2) 実施内容 ○ 通信・制御技術の進歩等により高度の運転信頼性が確保できるようになったため、9箇所の「50万ボルト変電所」ごとに有人で行っている監視・制御を集中化する。

以上

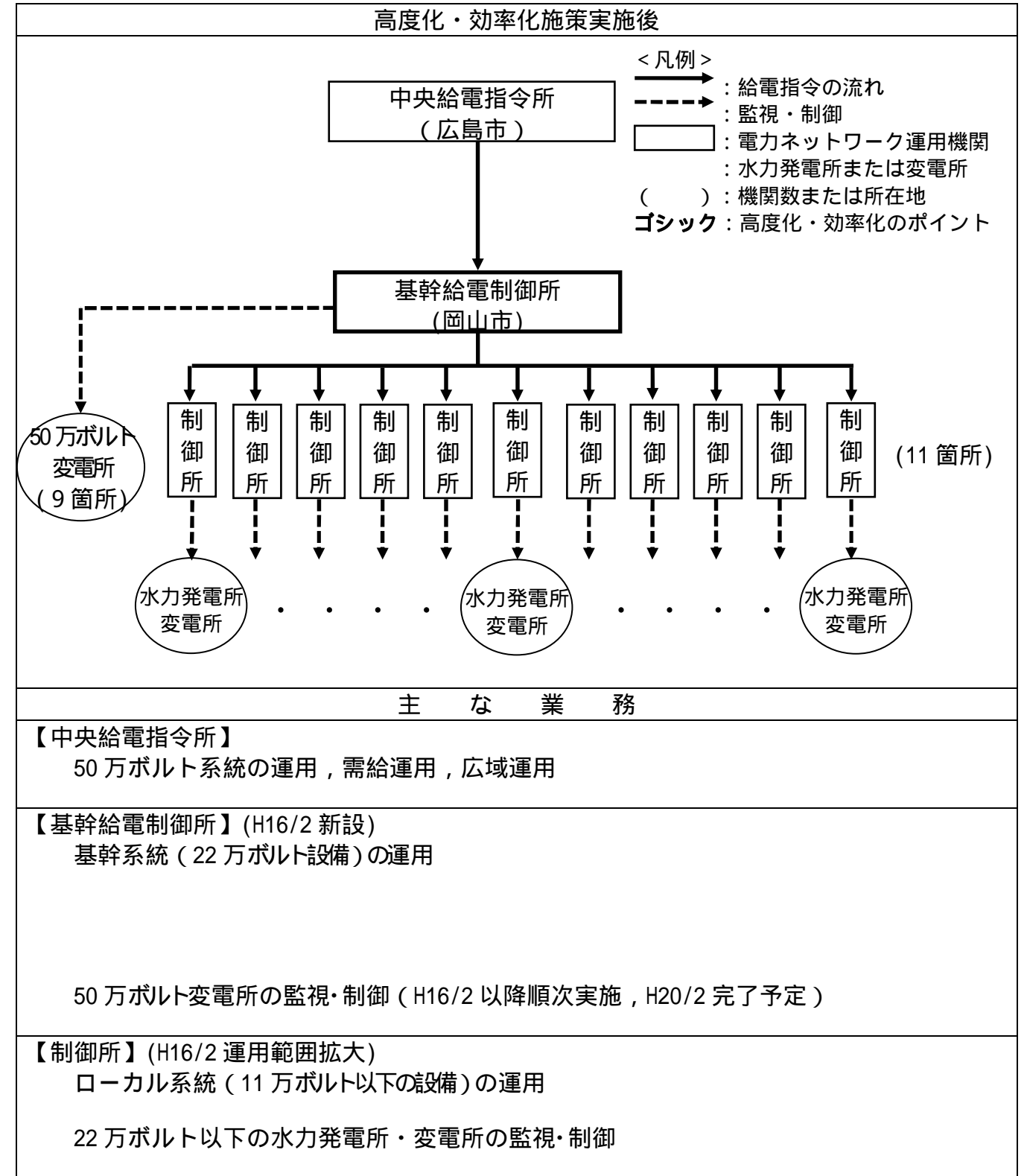
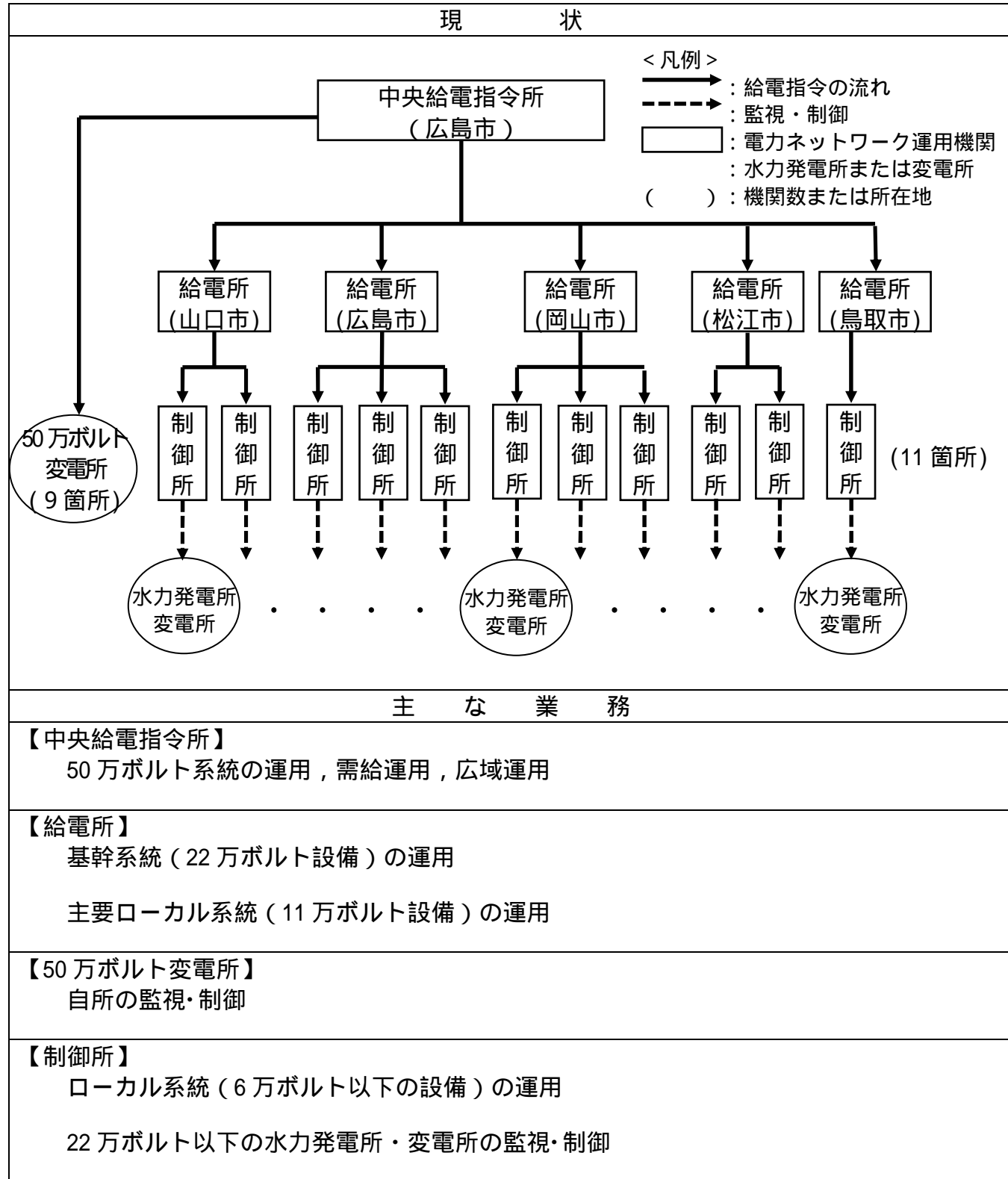
<別紙>

[電力ネットワーク運用の「現状」と「高度化・効率化施策実施後」の比較 \(PDF 18KB\)](#)

注 PDFファイルをご覧になるには Acrobat Reader4.0以上が必要です。



電力ネットワーク運用の「現状」と「高度化・効率化施策実施後」の比較



(注) ・運用とは，自所からの給電指令により発電機・送電線・変圧器などの電力設備を総合的に運用することをいう。
 ・監視・制御とは，自所において電力設備の状態を監視するとともに，給電指令に対して設備を直接制御することをいう。